

家庭教育支援チーム

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	高松市家庭教育支援チーム (呼称: ぴっぴ子育て)
②活動拠点	南部集会場 (高松市東ハゼ町 4-6)
③活動範囲	香川県高松市周辺
④組織体制	30 人 生活倫理相談士3人 ママさんサポーター17人(現在子育て中のお母さんたち) 託児ベテランママサポーター10人 (看護師2人・保育士1人・管理栄養士1人・ヨガインストラクター等含む)
⑤活動開始年度	H15 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) ぴっぴ子育て 石川佳奈 (TEL) 090-4506-4021 (E-mail)

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(子供を対象とした学びの場の提供)
②活動対象	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容

【活動内容】

●「ぴっぴ子育てセミナー」の開催

ねらい;妊娠中～学童期までの子供を持つ父母を対象に、講話や子育て中の親同士のグループディスカッション、質疑応答、個人相談を通じて、お産や子育ての心構え、指針を伝え、安心や希望、子育ての喜びを提供する。

私たちの活動する「ぴっぴ子育てセミナー」の『ぴっぴ』は、幼児にうどんと言う時、「ぴっぴ食べよ」等と使う方言からきています。名産さぬきうどんのように、子育てを《柔らかくも芯があり、伸び伸びとした子育てをして欲しい…。》そんな願いが込められています。

セミナーは公共の場をお借りして、高松市で開催しています。対象は妊婦さんから子育て中の保護者。テーマは毎回変えています。

(子育てに関する事・子育てに活かせる家庭作りに関する事)子育て経験豊富な講師をお呼びして、テーマに沿った講話や、初対面の保護者同士で悩みの共有・子育ての事を話し合う時間を設け、その後講師に直接話し合いで出た質問・疑問を聞いていきます。

セミナー内外で個人相談もできます。



●「子供倫理塾」の開催

ねらい;小学生を中心として、『遊び』『学び』『しつけ』を三本柱として、子供の情操教育に取り組み、子供同士の縦の繋がりを大切に、年長者は年少者を教え、守り、可愛がり、年少者は年長者に学び、憧れ、慕う…、そんな子供の世界を、親は見守り、余計な口出しをせず、自分自身を振り返る親の学びでもある。

『遊び』ながら『学ぶ』ことが『しつけ』になる、そんな楽しい子供対象の企画。具体的には季節の工作や文化に親しむ『こども短歌づく

り』、シニア世代も交えてのお店屋さんごっこや昔遊びで世代を超えての交流をしています。お楽しみの中にも、挨拶や返事、後片付けや物の大切さ、食べ物への感謝の気持ちを自然に身に付けていきます。



毎月三豊市での同会の合同開催を予定しています。保護者も一緒に参加可能。県内のお母さん方の幅広い交流の場ともなっています。

出来るだけ子供の自主性を伸ばせるよう見守りながら参加をして頂いています。



これらの企画等を月一回以上話し合いの時間を持ち決めています。



④活動の成果
(活動実績がある
場合)

・「ぴっぴ子育てセミナー」では、参加した方々が、「目から鱗の内容だった」「話して、聞いて、心がすっきりした」「教えてもらったことを早速家庭に帰ってやってみようと思う」と言われ笑顔で帰って行かれます。また、続けて参加される方が多く、セミナーで聞いたことを実践し、子供が、家庭がこんな風になりましたと、喜びの報告をする方がたくさんいます。

・「子供倫理塾」では、遊びながら学ぶことで、今まで前に立てなかった子が、進んで役割(毎回、進行、挨拶、食前食後の挨拶、子供リーダー等)をしてくれるようになりました。食べ物への感謝の気持ち、後片付けや、挨拶や、返事を身に付けていきます。

⑤活動財源

- 文部科学省補助事業(事業名:)
- 文部科学省委託事業(事業名:)
- 厚生労働省事業(事業名:)
- 地方公共団体単独事業として実施
- 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)
- その他の支援により活動を実施
(主催の家庭倫理の会より予算を組んで頂き活動しています。)